

◇あとがき◇

米国トランプ大統領は、就任当日から矢継ぎ早に多数の大統領令を發布しており、その動向はわが国の政治経済また学問の世界もニュースとして採り上げられている。トランプ大統領の評価には賛否両論あり、自己実現の人であるかどうかとも異論があるかもしれない。「自己実現者」とは、「その人が持つ潜在的能力を余すところなく発揮して本来なるべき人間になる」ことだという。心理学者マズローは、「真に自己実現する人間」とはどんな特徴があるかを、現代や歴史的偉人で自己実現した人間を対象に分析調査した。その結果、これらの人びとには共通の特徴があることを見出した。それは、「実体」を正確に読み取る知覚、成長発展への衝動、物理的環境や社会環境からの自律独立性、人々との深い結びつき、特殊な創造性、独創性（時には天真爛漫な子どもに似る）などであったという。さらに、これらの偉人たちは、他の人が味わったことのない神秘的体験を経験していたという。マズローはこれを至高経験（peak experience）と名づけた。至高経験は自己実現のための大きなエネルギー作り出していることが想像できる。小さな至高経験を大きく育てることができれば、凡人でも偉人のように自己実現する人間になれるのかもしれない。

本特集では、一線で活躍されている小児外科医の日々の診療から考案されたさまざまな工夫を披露していただいた。小児外科医としての工夫は成書に記載のないものも多々あると思われる。本特集には貴重な症例報告も含まれており、論文の質を向上させるために編集委員会で査読させていただいた論文もある。外科医は常に工夫を重ねて行くことがひとつの楽しみでもあり、本特集が読者の外傷診療におけるひとつのヒントとなれば幸いである。最後に、ご多忙にもかかわらず本特集に玉稿を賜りました諸先生方にあらためて御礼を申し上げます。

（越永従道）

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1

本郷宮田ビル 5 階

TEL 03-3814-8541 (代) FAX 03-3816-0415

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）東京医科学社が保有します。

・【JCOPY】＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

「小児外科」第 57 巻第 3 号（2025 年 3 月号）

特集 Hirschsprung 病

巻頭言 各施設における短域型 Hirschsprung 病の

診療の実態……………尾花 和子
【第 121 回東京小児外科研究会より】

【診断】

Hirschsprung 病疑いの症例に対する初期検査の手順と

留意点……………横川 英之
Hirschsprung 病の診断における calretinin 免疫染色の
有用性……………二見 徹

【術前管理】

上行結腸までの長域型 Hirschsprung 病に対する

根治術までの経肛門チューブ管理……………文田 貴志

Hirschsprung 病に対する減圧カテーテル留置による

術前管理の検討……………木村 翔大

北関東地域の小児外科施設における Hirschsprung 病の

術前管理……………鎌田 悠子

【術式選択】

当院における経肛門的 Soave 法の手術成績……………近藤 享史

当院における Hirschsprung 病に対する

腹腔鏡補助下 Soave—伝田法の実績……………関 千寿花

当院における Hirschsprung 病に対する

腹腔鏡補助下 Soave 法について……………海老原 統基

全結腸型 Hirschsprung 病に対する腹腔鏡下 Duhamel-Z

最小限の剥離で最大限の排便機能を……………伊東 成宜

【根治術中の留意点】

骨盤神経叢の解剖に基づいた Hirschsprung 病に

対する最良術式の考察……………和田 真穂

当院における年長児・学童児に対する術式の工夫……………森 慎三郎

Hirschsprung 病は正確な病理診断が重要である……………高橋 正貴

【術後管理、その他】

当院における Hirschsprung 病診療の後方視的検討……………出口 晴教

術後の排便管理に心理的介入が有効であった年長児

Hirschsprung 病の 1 例……………木暮 慶太

術後早期合併症に対して再手術を要した

Hirschsprung 病の 2 例……………川口 雄之亮

Hirschsprung 病と一酸化窒素（NO）作動性

神経との関連についての病理組織学的検討……………伊藤 佳史

名誉編集委員

秋山 洋 石原 通臣 岩中 督

大沼 直躬 大谷 俊樹 角田 昭夫

土岐 彰 長島 金二 橋都 浩平

山崎 洋次 横森 欣司 北川 博昭

編集委員

黒田 達夫 浮山 越史 金森 豊

越永 従道 世川 修 渡井 有

古田 繁行

小児外科

第 57 巻第 2 号

©2025 年 2 月 25 日発行

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

編集 小児外科編集委員会

発行 株式会社 東京医科学社

〒112-0006 東京都文京区小日向 4-5-16

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649

e-mail: shoge@tokyo-igakusha.co.jp

営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629

e-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2025 年前金予約購読料 1 年分 49,280 円（本体 44,800 円＋税 10%）

（小児内科・小児外科 合同増刊号を含む）

*送料は前金予約購読の方のみ弊社負担です